

令和6年度和泉市男女共同参画審議会 意見・質問にかかる回答について

	担当課 (室) 名	意見・質問	担当課(室)
1	学校教育 室	事業番号15「スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用」の実施状況（事業報告）について、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置時間を拡充し、子育て支援室やこども家庭センターと連携して必要な支援を行うというのは、今年度の方向・方針か。保護者の相談対応をソーシャルワーカーが行うことで教師の負担軽減を図り、成り手不足を解消するといった理解でよいのか。	スクールカウンセラーとは、児童生徒へのカウンセリング、保護者や教職員に心理的知見からの助言、援助を行う心理の専門家です。スクールソーシャルワーカーとは、課題を抱える児童生徒と、児童生徒が置かれた環境への働きかけなどを行う福祉の専門家です。 これまでの取組みを今年度も継続するものとはなりますが、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置時間を拡充し、心理面、環境面から児童生徒を支援することにより、不登校への適切な対応、問題行動の減少につなげていきます。 結果として、教員の負担軽減につながるという認識です。
2	健康づくり 推進室	事業番号91「リプロダクティブ・ヘルス」の実施状況（事業報告）について、子どもを育てている若い両親、これから親になる若い人たちのニーズとはどのようなものか。イメージを持ってもらえるようなきっかけとは具体的にはどのようなものなのか。	少子化や核家族化などで子育てや健康管理に関するイメージや基本的知識が十分でなく、インターネットなどで情報を収集することはできても疑問や問題について相談できなかつたり、実践的なスキルを習得する機会が少ないと考えられます。 両親教室などを活用し、妊娠中から子育て中の親と交流することで具体的な情報やアドバイスを得ることができます。また子育て期では、交流会などのコミュニティに参加することで他の保護者と経験を共有し支えあう・つながりあうことができると考えます。